

12 がっひかりごう

令和 5 年 12 月 1 日 輝 保 育 園

本年もお世話になりました。今年もあと少し。1 年を振り返り、子ども達の成長を感慨深く感じています。先日、保育士がおやつ準備をしている時、5 才児の子ども達が、「先生、机拭いとったけん！」とおやつを食べる前のテーブル拭きを誰に言われるわけでもなく、自主的に行ったそうです。自分で考えて行動できるひまわり組さん。自律へと大きく成長しています。来年も、子ども達の成長を見守りたいです。今年も、保護者の皆様よりたくさんのご理解とご協力を賜りましたこと、大変感謝しております。良い年をお迎えください。



=== ナース・レポート ===

【「プール熱」流行続く
福岡県は 10 週連続で警報レベル
インフルエンザも注意報】

咽頭結膜炎いわゆる「プール熱」が全国的に流行していますが、福岡県では、10 週連続で警報レベルとなりました。

インフルエンザも 7 週連続で注意報レベルとなっています。

福岡県医師会 理事は「人にうつさないということを気をつけていただきたい、そのためには咳エチケットを実施する、手洗い・手指を消毒するということがぜひやっていただきたい」と基本的な感染対策を呼びかけています。

11/16 RKB ニュースより抜粋

何が原因で咳がでているのかを自分で判断するのはなかなか難しいことです。

保育園ではたくさん子どもが集団生活をしているので、咳が感染症によるものだった場合、他の子への感染リスクも気になります。

飛沫は約 1 ~ 2 m 飛ぶと言われています。皆が 2 m の距離をとって生活することは現実的ではないため、飛沫感染する感染症が保育園内で流行することを防ぐことは不可能です。

呼吸器症状がある場合はマスク着用を含めた咳エチケットを実施しましょう。

マスク着用ができない 2 才以下の小さな子どもさんは、呼吸器症状がある程度落ち着くまでご家庭にて様子を見ていただくようお願いいたします。

《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

～ 親離れ・子離れ (依存と自立) ～

ちょっと前まで、親が手を貸さないともできない、幼い子どもだったはずなのに、いつの間にか、「こんなこともできるようになったんだ」、「こんなことを考えるようになったんだ」と驚かされたことはありませんか。

子どもの健やかな成長、自立を願わない親はいないはずです。

今回は、「子どもの親離れ」、「親の子離れ」を考えていきましょう。

◎ 依存から自立へ

「自立」とは、他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと、「依存」とは、他に頼って存在、生活することといわれます。

一見反対語のように捉えられますが、対立するものではなく、お互いが密接に関係しているものです。

心理的に自立している子どもは、親から厳しく育てられて自立したわけではなく、放任によって育てられたから自立したのでもありません。

成長する過程において、親への依存を体験し、親からの愛情をしっかりと確信できるからこそ、自立へのステップを歩むことができるといわれています。

子どもを自立した大人に育てていくために、依存することを十分、体験させ、親子の信頼関係を築くことが、とても大切です。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

(((年 末 ・ 年 は じ め)))

生活が不規則になりがちな年末年始。

健康に過ごし、年明けも元気に当園出来るように健康に過ごしましょう！

- 規則正しい生活を送る。
- 夜更かしをしない。
- 1 日 3 食、食事をする。
- 手洗いがいをする。

遠出をする場合、無理のない日程で行動しましょう。

★ 冬 至 ★

12 月 22 日は冬至です。

1 年でいちばん夜が長く、昼が短い日のことです。

かぼちゃを食べたり、ゆず湯に入ること、風邪をひきにくい体になれると言われています。



= 12 月の行事予定 =

- | | |
|-------------|-----------------|
| 2 日 (土) | 剣道披露会 |
| 5 日 (火) | 避難訓練 |
| 21 日 (木) | 誕生会・身体測定・クリスマス会 |
| 28 日 (木) | 保育納め |
| 29 日 (金) |] 年末年始休み |
| 1 月 3 日 (水) | |
| 4 日 (木) | 保育始め |

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ
0 才児



お天気の良い日、靴を履いて保育室からたんぽぽ園庭に出掛けました。大窓を開けると、一斉に窓に近づき外へ一歩踏み出します。靴を履く事を嫌がったり戸惑う様子もなく、気持ちは滑り台などの遊具や、落ちて葉っぱに引き、靴を履き終えるとそれぞれ興味を引く場所や物に行きます。滑り台を繰り返している子や広い園庭内をひたすら歩き回る子、動いている虫に興味を持つ子など色々な表情や行動が見られました。楽しい戸外遊びですが危ない事もたくさんあります。保育者一同で安全に努めると共に、遊びの中で体の使い方、遊具の使い方を学び、身体能力、危険察知、回避能力を育めるような経験を重ね、また自然に触れることで感性を豊かに出来るように戸外遊びを展開していきます。

たんぽぽぐみ
1 才児



2 才半の子は、「友だちと一緒に」が楽しくなり、同じ遊びをしたり、やり取りしながら遊んだりすることも増えてきました。小さな滑り台の小窓から顔を出し、「いらっしやいませ～」とお店屋さんになりきる姿も。「何がありますか？」と聞くと、「ぶどう、りんご、みかん」など色々な果物の名前が出てきます。「ぶどう、ください」と言うと、奥から出して渡してくれます。食べ「おいしかったです」と言うと、「りんごもありますよ」と商売上手です。2 才過ぎの子は、友だちが気になり始めましたが、まだ関わり方がわからず、トラブルになることも多い日々です。その都度、保育者が仲介しながら関わり方を知らせています。2 才前の子は、自分で出来ることが増え、自由に動くことも出来るようになり、好きな遊びを繰り返して楽しんでいます。

すみれぐみ
2 才児



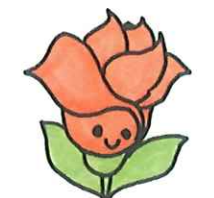
11 月は散歩に行き、秋の自然に触れ楽しみました。どんぐりを見つけると、表情がパツと輝き、夢中でどんぐり拾いが始まりました。また、赤や黄色の落ち葉を見つけ「きれいなね」、「かわいいね」と言葉にする子どもたち。感じたことや思ったことを言葉にすることが上手になり、友だちや保育士と言葉のやり取りを楽しんでいます。挨拶もその一つです。最近のすみれ組では「ありがとう」、「おはよう」という言葉がよく聞かれます。散歩に行ったときも、すれ違う人に「おはようございます！」と元気に挨拶する姿が見られました。「おはようございます」という言葉が返ってくるのと同時に、笑顔になる姿に、子どもたちもとても喜んでいました。思いを言葉にすること、そしてそれが相手に伝わる喜びを感じる経験を積み重ね、「伝える」という楽しさを味わっています。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



「ルールのある遊びを通してみんなで活動する事を楽しむ」という保育計画のもと、鬼ごっこを取り入れています。「追う、逃げる」というルールの鬼ごっこは全員が理解しています。そこで「タッチされたら 5 秒留まる」というルールを加えてみました。タッチされ止まって数える子、タッチされても留まらない子、歩きながら 5 秒数える子など様々な姿がありました。ルールを守っている子のなかには、守らない子に対して不満を抱く子もいます。どれも予想通りの姿です。今回は「ルールを守らない事を原因とした友達とのトラブル」が予想されます。子ども達は他者と関わるなかで、自他の行動に対する様々な反応を得て良い行動や悪い行動がある事に気づき学んでいくため、トラブルを経験する事も大切な 1 つです。子ども達同士のやりとりを見守っていきます。

ばらぐみ
4 才児



本格的に寒い日が増えてきました。衣服の調節をしながら、全身を動かして遊んでいます。そんなばら組の子ども達、先月は鬼ごっこを楽しむ姿が多く見られました。体を動かすことが大好きで、参加する子ども達はみんな全力で追いかけて、全力で逃げます。生き生きとしたその表情から、友達との鬼ごっこを心から楽しんでいることが伝わります。まだ力の加減が難しく、「押された」、「ひっぱられた」等の声が上がることがありますが、保育者も一緒に楽しみながら、その都度ルールを確認し、正しい遊び方を身に付けていくようにします。また、気温が下がり、季節の移り変わりとともに、風邪の予防についても関心が広がっています。正しい手洗いの仕方や休息、しっかりと食事を摂ることなど、園での生活に取り入れながら、強い身体をつくることを目指していきます。

ひまわりぐみ
5 才児



11 月は幼年消防クラブ大会や遠足で、園外へ出る日をカウントダウンしながら、ワクワクドキドキと待ちわびていました。そんなひまわり組の子ども達は年下の子にも、クラスの友達にも、保育士にもとても優しく接してくれます。年下の子に対しては優しく声をかけ手を繋いでペースを合わせて歩いてくれたり、泣いている子を抱きしめてくれたりします。クラスの子に対してはトラブルもありますが、泣いている子の周りに集まってきて話を聞いてくれたり、頑張っている子を一杯応援してくれたりします。保育士に対しては玩具を消毒しようとしているとアルコールスプレーをかけやすいように並べてくれたり、咳が止まらなくなると「大丈夫？」とお茶を飲むことを勧めてくれたりします。しっかりと育てている思いやりの心をこれからも持ち続けてほしいと願っています。